



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>



学校教育目標 ㊦いさつから輪を広げる子 ㊧ふうして学び続ける子 ㊨たしもあなたも命を大切にする子

コロナに負けるな！ 暑さに負けるな！

副校長 青島 大受

今年度、泉区の東中田小学校より異動してまいりました副校長 青島 大受と申します。教職に就いて、26年目となりました。校長先生のもと、子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様、教職員とともに、学校教育目標「㊦いさつから輪を広げる子 ㊧ふうして学び続ける子 ㊨たしもあなたも命を大切にする子」をアットホームな雰囲気の中で、目指していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症に伴う休校の際には、保護者の皆様に多大なるご理解・ご支援をいただき、感謝申し上げます。子どもたちも、未知のウイルスに対して、大人以上に不安を感じていたことと思います。学校では、6月1日からの段階的な再開に向けて、子どもたちが少しでも安心して生活できるよう、準備を進めてまいりました。まず、教室内では「密」にならないように机の位置やロッカーの配置をし、水道やトイレでは待つ場所が分かるような印をつけたり、学年ごとで使う場所を決めたりしました。保健室への動線や保健室内のレイアウトも工夫しました。子どもたちの安全を守るために、教職員一同で知恵を出し合い、協力し、子どもたちを迎える準備をしました。6月1日からの再開では、子どもたちも、少しずつ新たな学校生活のスタイルに慣れ、1年生も、新しい生活の約束を学び、元気に登校していました。6月の2週目に入ると、今度は暑さへの心配が生まれてきました。学校では毎日定時に熱中症指数(WBGT)を計測し、子どもたちに注意喚起をしたり、時には体育を中止にしたり、休み時間を中遊びにしたりしました。元気いっぱいに外で体を動かしたい子どもたちにとっては、とてもつらい状況になっていたため、少しでも楽しく過ごせるような遊びを教職員から子どもたちへ提案し、進めていきました。3週目や4週目に入ると、子どもたちも新しい学校生活スタイルに慣れ、あいさつの声も大きくなり、所々で笑顔が見られるようになってきました。各学級では、目標を定めたり係活動を進めたり、学校全体では委員会活動行ったりしながら、仲間とのかかわりも少しずつ増やしていきました。阿久和小学校では、小規模校の良さを生かして、学校再開当初から午前授業を行うことができ、授業時間も多くとることができています。



新型コロナウイルス感染症や暑さの中で、私たち教職員が最も心配しているのは、子どもたちの心身の健康です。新たな学校生活のスタイルの中で、子どもたちは、ウイルスへの心配やマスクの着用、人との間隔などに留意しながら生活することになりました。この状況は、休業中の生活と一変し、心身ともに、子どもたちへの負担となっていることと思います。7月からは、今までとは違う形での給食や清掃も始まります。学校では、子どもたちが少しでも安心して生活できるよう、教職員一同、見守り、支援してまいります。保護者の皆様には、引き続き、ご苦勞をおかけいたしますが、毎朝の体温チェックや健康観察票の記入などを通して、お子さまの心身の健康管理へのご配慮をよろしくお願いいたします。

